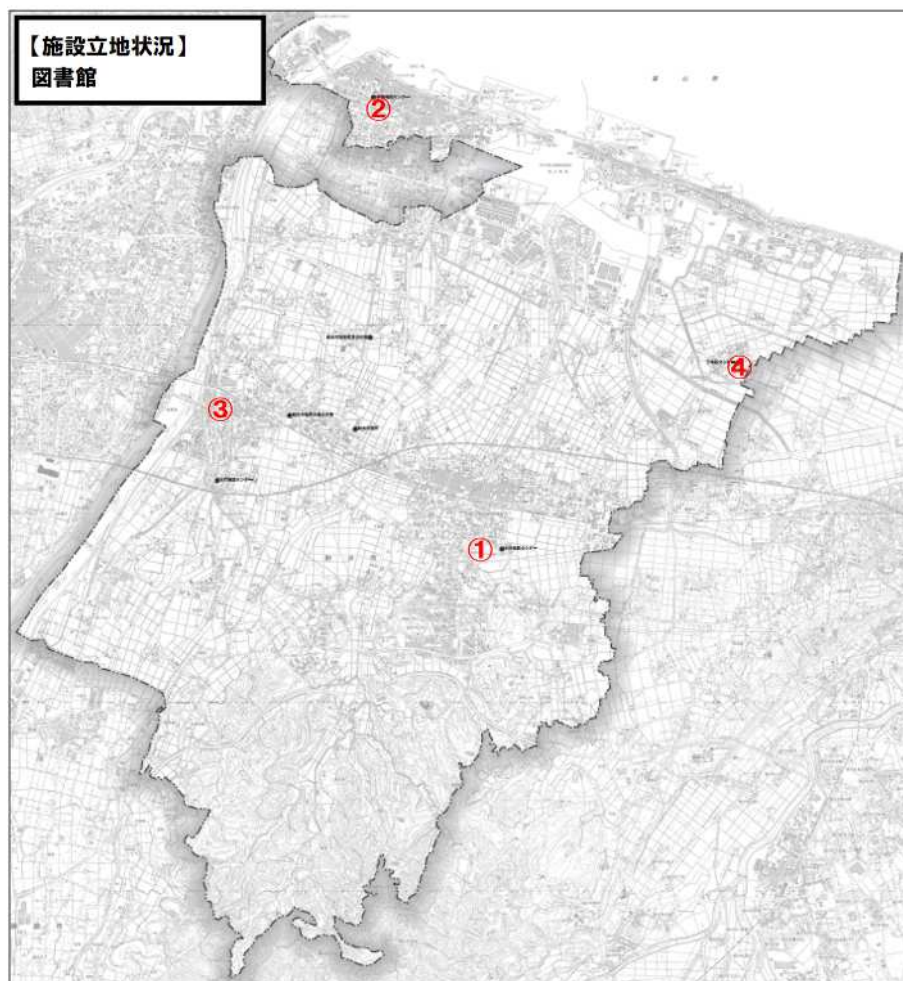


2 社会教育系施設

(1) 図書館

大分類	小分類	対象施設
社会教育系 (10)	図書館(4)	中央図書館、新湊図書館、正力図書館、下村図書館

配置状況



中央図書館
新湊図書館
正力図書館
下村図書館

施設の役割

公立図書館は、乳幼児から高齢者まであらゆる世代の自己教育に資するとともに、市民が情報を入手し、芸術や文学を鑑賞するなど地域文化の創造に関わる場であり、図書館法に基づき図書館を設置し、図書館サービスを提供することは地方公共団体の責務とされています。

本市では、単独館である中央図書館のほか、複合施設である新湊図書館、正力図書館及び下村図書館の4館体制で業務を行っています。本市においても、多様な生涯学習ニーズに応えるため計画的に資料収集を行い、蔵書の充実を図り、市内4館の図書館をはじめ県立図書館及び県内市町村図書館と連携し、図書館相互の貸出業務や情報提供機能の拡充、読書活動の推進等、図書館サービスの向上に努めています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A：おおむね健全 B：やや劣化 C：劣化 D：著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等（着工年度）	
			特記事項		
1	中央図書館	敷地・地盤	B	・地盤沈下による床のタイル及びコンクリートの亀裂	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根雪止め金具設置工事(H25) ・屋根下地改修工事(H26) ・雨樋修繕工事(H30) ・ロールスクリーン等設置工事(R1)
		外部	A		
		屋上・屋根	C	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根の老朽化による雨漏りあり(4か所) ・トップライトの金属製枠組みの錆(腐食) ・展望デッキ床材の劣化 	
		内部	B	<ul style="list-style-type: none"> 【内装】 ・壁の一部亀裂 ・特定天井の天井材の劣化 	
C	<ul style="list-style-type: none"> 【設備】 ・空調の劣化 				
4	下村図書館 (下村交流センター)	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事(下村児童館の照明器具・戸車取替、電気工事)(H30)
		外部	B	・ごく部分的に亀裂、腐食	
		屋上・屋根	B	・一部トイレの天井から雨漏り	
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第12条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

新湊図書館は新湊中央文化会館(26ページ)で、正力図書館は大門総合会館(26ページ)で記載。

施設の課題と今後の方向性

再編方針では、利用者数の推移等を踏まえ、正力図書館及び下村図書館を将来的に廃止し、中央図書館と新湊図書館の1本館1分館体制に機能を集約する方向性を示しています。

中央図書館は、年間約6万2千人の利用者(延べ貸出者数)があり、当市の図書館機能の中核を担うなど、本館としての役割を果たしてきましたが、建築後20年が経過し、冷暖房設備・展望デッキの床材等の改修が必要となっています。

今後は、施設の機能を維持しつつ、文化施設等の再編等、今後のまちづくりの検討を進める中で、中央図書館としての在り方を検討します。

新湊図書館については、複合施設である新湊中央文化会館の方向性が令和5年度末までに示されることを踏まえ、それと併せて在り方を検討していきます。

ソフト面においては、今後の社会のデジタル化を見据え、電子図書館機能の導入についても、調査・研究をしていく必要があります。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したもの
- ・その他：令和元年度実績

施設名	施設概要				実施時期	短期				
	年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)				
3 正力図書館	建築年度	昭和62（1987）	延利用者数	15,171人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	15,993千円	取組内容	（文化施設等再編基本構想の策定 〔大門総合会館の方向性を決定〕）				
	経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	1,054円/人						
	構造/ 耐用年数	SRC/47年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	373.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
1 中央図書館	建築年度	平成12（2000）	延利用者数	62,330人	経過年数					
	改修年度	—	維持管理費	68,509千円	取組内容	冷暖房設備の改修 エレベーター安全装置取付 展望デッキ改修 等				
	経過年数	21	維持管理費/ 延利用者数	1,099円/人						
	構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	2,346.38㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	77百万円				
4 下村図書館	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	14,923人	経過年数		築後20年			耐用年数
	改修年度	—	維持管理費	14,872千円	取組内容					
	経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	997円/人						
	構造/ 耐用年数	W/22年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	366.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					
2 新湊図書館	建築年度	昭和56（1981）	延利用者数	23,741人	経過年数	築後40年				
	改修年度	平成20（2008）	維持管理費	19,537千円	改修後年数					
	経過年数	40	維持管理費/ 延利用者数	823円/人	取組内容	（文化施設等再編基本構想の策定 〔新湊中央文化会館の方向性を決定〕）				
	構造/ 耐用年数	SRC/50年	稼働率	—						
生涯学習・スポーツ課	延床面積	2,003.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
	築後40年							令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
中央図書館に集約し廃止（転用）						・大門総合会館が存続する場合は、スタディスペースなどへの転用を検討		
				築後30年				施設の機能を維持しつつ、文化施設等の再編等、今後のまちづくりの検討を進める中で在り方を検討していく。
						築後30年		令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
中央図書館に集約し廃止（転用）						・児童図書コーナーに転用		
								令和13年度末までに図書館機能を廃止する。
					築後50年 耐用年数			
		改修後20年						
続しない場合は、他施設へ機能移転								
続する場合は、同会館内で存続								

